

令和7年度第6回臨時理事会議事録

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

- 1 日 時 令和8年1月15日（木曜日）
10時00分から11時30分まで
- 2 場 所 事務局共用会議室
- 3 理事現在数 7名
- 4 定 足 数 4名（理事の過半数の出席をもって成立）
- 5 出 席 者 8名（理事以外を含む）
理 事 6名
（理事長）塩見清仁
（常務理事）小室明子
（理事）延與桂、上代圭子、中川冷子、平野裕一
監 事 2名
飯塚幸子、中山正雄
- 6 議 題
 - （1）審議事項
第1号議案 役員賠償責任保険の契約について
 - （2）報告事項
東京2025デフリンピックに関する報告について

7 議事に至るまでの経過

出席予定者が全員揃ったため、理事会を開会した。議事に入るまで、河野事務局長が進行役を務めた。冒頭、当理事会は東京都スポーツ文化事業団理事会会議規程第7条に定める定足数を満たし、有効に成立する旨を報告し、定款第32条に基づき理事長が議長を務める旨を説明した。

これを受け、塩見理事長が議長として、開会を宣言した。定款第34条により、議事録署名人は出席した理事長及び監事が務めることを確認し、議事を開始した。

8 議事の経過及び結果

第1号議案 役員賠償責任保険の契約について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して説明するよう指示し、河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

(3) 決議

第1号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

9 報告事項

東京2025デフリンピックに関する報告について

本件について、北島本部長補佐、小林シニアマネージャー、板倉シニアマネージャー、鶴川シニアマネージャー、小澤シニアマネージャー、塩田シニアマネージャーより報告した。

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問) 延與理事

2点質問させていただく。1点目は、聴力検査及びドーピング検査の結果について。2点目は、本大会に関する業務の完了に向けたスケジュールについて。

(回答) 小澤シニアマネージャー

1点目の聴力検査及びドーピング検査の結果については、日本国内の聴覚検査を行う方々と連携し、ICS D のオーディオロジストの要望も踏まえながら検査を実施した。検査の結果、競技に参加できない選手はいなかった。

(回答) 北島シニアマネージャー

2点目の本大会に関する業務の完了に向けたスケジュールについては、実務的には、6月の定例理事会において前年度の決算を行い、業務が完了する予定である。また、ICS D に対しては、規約上、公式報告書を15部提出することが求められており、そちらについても対応していく。

(質問) 上代理事

リエゾンについて、どのようなスキルを持った方を選定して採用されたのか。

(回答) 北島シニアマネージャー

手話言語スキルを持った方は限られており、競技会場等大会の枢要な箇所で活用する必要があった。このため、リエゾンには英語やポルトガル語など7言語を対象に、言語スキルを持った方を採用し、その中から、選手団から要望された言語スキルをもった方を配置した。

(意見) 飯塚監事

大会中に発生した事故について、発生直後に即時報告をすることが大事である。再発防止に向けてしっかりと確認をしてほしい。

10 その他

議長より意見を求めたところ、特段の発言は無かった。

以上をもって理事会の議事を全て終了したため、議長が終了を宣言し、散会した。